

第2次和泉市都市計画マスタープラン（案）パブリックコメント 募集結果概要

- 1 意見等募集期間：平成28年4月11日（月） ～ 平成28年5月11日（水）
- 2 意見等提出者数：個人 4名、団体 1団体
- 3 意見等提出件数：26件
- 4 ご意見・ご提案の概要及び市の考え方（類似の意見があった場合は類似する意見を集約しております。）

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
1			<p>計画案を総合的に読ませていただきましたが、住みやすい町づくりをすることで人口も増え、若い人の和泉市への導入などで、市の税収や収入の根拠を重きにおいての考えが先行するのは仕方ないことですが、利便性や経済を優先すると利己主義的や個人主義的な人たちばかりの街になりかねません。</p> <p>私は画家で僧籍に身を置くものですが、例えば原始時代の食べるだけで生きることが目的の洞窟にすむ人たちが、その洞窟の岩に絵を彫り付けています。このようなことはこの人たちにとって何の利便性や経済効果を生むものではなく、その逆によけいな動力で絵を刻み付けることは何ら得にはなりません。木製の打楽器もそうです。鹿のいる自然と共生しながら生きる原始的生活、食べるだけの生活には絵も音楽も不要です。ではなぜこんなことに動力を注ぐのでしょうか？これが人間の食とともに一番大切にしなければならぬ「文化性」だからです。</p> <p>ところが総合計画の住みよい街づくりのパーセンテージをみると、利便性や経済性のみが優先しているように思えます。このような利便性や経済優先が災害や何らかの要因で崩壊すると個人主義な人たちだけの街となります。阪神淡路の神戸の地震は1月の寒いころでした。被災人たちが一番考えたものはなんでしょうか？本町で売るダイヤモンドでしょうか？いいえ、人間生きていく上に大事な食べ物、たとえば一杯のあたたかいうどんでした。このように考えると食べて行けること自給できること、食物があり（自然と共生した田畑）それを基本に文化的生活ができる街、自分たちの祖先が築いてきた歴史遺産、このようなものを大切にすることで情緒や人に対する気持ちなど育ついい街</p>	<p>本マスタープランで掲げる都市計画の目標の実現に向け、重視すべき視点の一つとして「豊かな自然や歴史・文化資源と調和した魅力的な都市づくり」をサブテーマとして設定しております。</p> <p>また、都市計画の方針において、緑とうるおいのある快適な都市環境の形成と、自然環境・歴史文化遺産などの保全と有効活用を図るために、35ページに「都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針」を位置づけております。</p>

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
			<p>になると思います。</p> <p>街は人間の集合体です。この人間をつくるのが先に書いた文化や歴史、自然です。人づくりを基本に総合計画を進めてほしいと提言します。それには文化歴史自然を重要視してください。</p>	
2			<p>本会は、和泉市全域であらゆる自然に関わる活動を行っています。第2次和泉市都市計画マスタープラン（案）において、「都市と自然の心地良さに人が集い、躍進し続けるまち・和泉」というとても素晴らしい都市計画目標に照らし合わせると、現在具体的に進んでいる「Sゾーンの里山自然公園計画」以外には水遊びができる親水公園ぐらいのイメージしか浮かばないのが非常に残念であります。</p> <p>「ホタル」という言葉が所々に出て参りますが、自然発生していると考えられるのは、槇尾川では側川以南、松尾川では久井町以南の限られた場所だけです。豊かな「都市と自然の心地良さ」という観点からは、国蝶であるオオムラサキが見栄えもよくPR効果が群を抜いています。</p> <p>本会は、久井町で飼育を続けており、今年度は1000匹近くまで増やすことが出来ましたので、7月3日のオオムラサキ祭りでは初めて放蝶をいたします。近畿でも本気でオオムラサキの飼育をしているところは、奈良県の橿原市の方と本会だけです。</p> <p>是非とも「ホタル」の部分には「ホタルとオオムラサキ」として具体的なイメージが見えるようにして頂きたいと願っております。是非ともよろしくご検討ください。</p>	<p>ご意見をふまえ、本マスタープラン製本時に「ホタルなど多様な生物が生息するまち」のイメージなどの掲載を検討いたします。</p>
3	21	<p>1. 都市計画の目標</p> <p>(2) 都市計画の目標</p>	<p>都市計画の目標「都市と自然の心地良さに人が集い、躍進し続けるまち・和泉」は、とても良いキャッチフレーズだと思いました。</p>	
4	22	(3) 和泉市の人口推計	<p>第5次総合計画(案)が上位推計を目指して計画を推進することを受け、本計画においても上位推計を基に計画を推進します。と記載されていますが、総合計画(案)がそもそも実現可能な数字であるかは委員会で検討されたのでしょうか。上位推計の設定条件</p>	<p>和泉市都市計画マスタープラン策定委員会において、第5次和泉市総合計画(案)を受け本マスタープランも上位推計を基に計画を推進する旨を</p>

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
			<p>として合計特殊出生率は平成 32 年に 1.6、平成 42 年に 1.8、平成 52 年に 2.07 とされていますが、和泉市の過去の合計特殊出生率は「いずみデータブック 2015」によれば平成 10 年以降の推移では平成 11 年の 1.55 が最高で平成 17 年には 1.31 まで下降し、その後平成 23 年には 1.48 まで回復しましたが、平成 24 年 1.39、平成 25 年は 1.37 とまた下降傾向にあります。トリヴェール和泉の開発があってもこの数字ですから、今後新たなニュータウン計画でもない限り、この数字は机上のものとなる可能性があると思いますが、委員会ではこの点についてどのような議論がされたのでしょうか。</p>	<p>説明いたしましたが、特に意見はございませんでした。</p>
5	33	<p>(2)交通の方針 5)環境負荷が小さく利便性の高い交通ネットワークの形成</p>	<p>バスや鉄道以外できめ細かな住民ニーズに対応できる交通手段を検討しますとありますが、コミュニティバスを導入して 15 年ぐらいいになり、運用のプラスやマイナス面も把握できているのですから、この検討は早期にさせていただかないと、ますます交通弱者が増えてくるのが懸念されます。先進地の事例を参考にして和泉市での取り組みを出来るだけ早く実施して下さるよう要望します。</p> <p>また自転車レーンの整備も早急に行う事が望まれています。排ガスの心配もなく、かつ健康にも寄与する乗り物は大いに活用していただきましょう。</p>	<p>まちづくりと一体となった公共交通ネットワークを形成するため、早期に検討を行ってまいります。</p> <p>また、自転車レーンの整備についても今後研究を進めてまいります。</p>
6	35	<p>(3)都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針 1)緑とうるおいのある公園・緑地の整備 ＜主な公園・緑地の整備方針＞</p>	<p>近隣公園としての機能充実、隣接する市立病院と一体的に整備を進めるとなっているのはとても素晴らしいですが、周辺では昨年 8 月にアユが見つかっており、大阪府準絶滅危惧種のヒメボタルも発見されています。</p> <p>隣接する市立病院の患者さんたちが癒されるような「近隣親水公園としての機能充実」と明確にすることはできないでしょうか。ご検討ください。</p>	<p>榎尾川公園の整備について、「近隣親水公園」として整備する計画はございません。</p>
7	36	<p>(3)都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針</p>	<p>「信太山丘陵市有地についても・・・」の部分は、ただ単に貴重種があるというわけではありません。希少種を含め生物多様性に満ちていること、里山的環境があることが重要です。次のように表現を変えてください。</p>	<p>ご意見をふまえ、下記のとおり修正いたします。</p> <p>また、29 ページの「●土地利用方針 自然丘陵地区」、62 ページの「まちづくりの方針 カ」にも</p>

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
		2) 南部の山間部や信太山丘陵市有地の緑の保全・活用	「信太山丘陵市有地とその周辺部も含め、生物多様性に満ちた里山的環境を保持しつつ、市民の憩いの場、環境学習の場として保全・活用を図ります。」	<p>36 ページと同様の記載があることから、合わせて修正いたします。</p> <p>(29 ページ修正後)</p> <p>また、信太山丘陵市有地については、<u>生物多様性に満ちた里山的環境を保持しつつ、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用を図ります。</u></p> <p>(36 ページ修正後)</p> <p>信太山丘陵市有地についても、<u>生物多様性に満ちた里山的環境を保持しつつ、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用を図ります。</u></p> <p>(62 ページ修正後)</p> <p>信太山丘陵市有地については、<u>生物多様性に満ちた里山的環境を保持しつつ、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用を図ります。</u></p>
8	36	<p>(3) 都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針</p> <p>2) 南部の山間部や信太山丘陵市有地の緑の保全・活用</p>	<p>和泉市には松尾寺周辺、谷山池周辺など松尾丘陵は、信太山丘陵にはない希少種が多く存在しています。それが民有地であることから開発が進み、谷間が廃棄物で埋め立てられて、希少種や丘陵の自然景観が損なわれています。谷山池並びにその上流部における埋め立て（将来的に）を規制する必要があるのでは？</p> <p>谷山池から松尾寺公園南部にかけては自然景観を楽しみつつハイキングができる一周コースがあり、なんとしてもその周辺の自然と景観を残すことをここに盛り込んでください。</p> <p>和泉市には緑が多いということで移転してくる人が多いと聞きます。そうした期待を</p>	<p>谷山池周辺は市街化調整区域となっており、新たに土地利用を誘導する区域とはなっておりません。</p> <p>自然環境・景観の維持については、35 ページの「(3) 都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針」、51 ページの「(7) 都市景観の方針」に沿って取り組んでまいります。</p>

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
			<p>裏切らないよう中央丘陵部についても開発に歯止めをかけてください。次のような表現を入れてください。</p> <p>「谷山池から松尾寺公園南部にかけた中央丘陵部には絶滅が危惧される希少種が多く生息し、自然景観にも優れており、市民の憩いの場、レクレーションの場として活用し、新たな開発を規制していきます。」</p>	
9	84	<p>中部地域</p> <p>⑥まちづくりの方針 キ</p>	<p>松尾寺周辺の谷津田や谷山池周辺は市民の憩いの場として、また自然環境及び自然景観が優れている所です。特に谷山池とその上流部の谷間は土砂・廃棄物で埋め立てられようとしています。なんとか現在の自然環境・景観を後世に残すため、埋め立てなど開発に歯止めをかける手立てを考えてください。</p> <p>「松尾寺公園を含む松尾丘陵の自然環境・景観を維持するために新たな開発を規制していきます。」の文言をいれてください。</p>	
10	37	<p>(3)都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針</p> <p>6)環境負荷を低減する生活環境づくり</p>	<p>太陽光利用などの新エネルギー導入や雨水の再利用など、環境負荷の少ない町づくりを目指しますとありますが、雨水について和泉市は購入に際して補助制度を設けていますが、市民に十分PRできていません。今回の熊本地震でも改めて認識されたのが、水のありがたさです。雨水タンクを設置すれば災害時の大きな助けになります。膜処理すれば飲料水に、そうでなければトイレ等に使えるなど有用です。市民に広報するのは勿論の事、公共施設に積極的に設置して行ってください。</p>	<p>補助制度については、今後も広報いずみ等により市民へ周知してまいります。</p> <p>なお、公共施設への設置についてのご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
11	38	<p>(3)都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針</p> <p>9)地域学習、環境学習の推進</p>	<p>地域活動団体という言葉は他の頁には見つけることが出来ませんでした。他ページにある地域住民という言葉は自治会・町会を意味しますが、公民協働が声高々に叫ばれる中で私どもNPOなどの果たす役割は大きく、身を引き締める思いで日々活動しております。</p> <p>そこで公民協働をより進めるために「地域活動団体」を「NPOなど(を含めた)地域活動団体」として、自治会・町会以外のボランティア活動団体に期待を込めて頂けないかと願っています。</p>	<p>地域学習、環境学習の推進などの取組みには、地縁型組織である自治会・町会以外にも、NPOやボランティア組織など、様々なまちづくりに関わる組織との連携が必要であると考えております。</p> <p>上記の考え方とご意見をふまえ、「地域活動団体」を「市民活動団体」に修正し、本マスタープ</p>

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
				ランにおける「市民活動団体」の定義を製本時に用語集を作成し、記載いたします。
12	44	(5)市街地・集落及び住環境の方針 4)自然と調和した新市街地の都市機能の充実	上から6, 7行目「地域の個性を活かした住環境の保全・充実」についてです。 p46図の久井町で私たちは「ホテルとオオムラサキの里 久井町」の活動を続けています。p77の地域の主な資源の表にある「ホテルが生息するまち」は中部地域においては毎年放流イベントしておられる地域では自然発生は無理で、久井町が重要ポイントになります。久井町は特に自然発生のゲンジボタルが確実に見られる「自然と調和した新市街地」であります。そこで「地域の個性を活かした住環境の保全・充実」の部分で「地域の個性を活かした住環境（久井町のホテルとオオムラサキの里など）の保全・充実」と具体例を少しでも入れるとより分かりやすくなるのではないのでしょうか。ご検討ください。	全体構想では、市全体の分野別の方針を位置づけるものですので、ご意見にあるような地域の具体例はこの項では記載いたしません。
13	45	(5)市街地・集落及び住環境の方針 7)市営住宅の適切な維持管理と更新	和泉市は一人当たりの市営住宅の面積が0.84㎡で大阪府内では3番目との事です。今後の人口減少は税収減と表裏一体です。ここでは地域活性化のあり方を勘案しながら、集約も視野に入れた検討を行いますと記載されていますが、もっと踏み込んだ考えを早期に出していかないと、財政的には非常に厳しくなると考えます。市営住宅は民間住宅の活用も視野にいれ、出来るだけ効率的な運用を図る方法をとってください。	市営住宅の民間住宅の活用については、それにかかる効果やコスト等を検証し、導入の是非について慎重に検討してまいります。
14	52	(7)都市景観の方針 6)良好な幹線道路沿道景観の形成	下から2行目「ふさわしい沿道景観づくり」についてです。 外環状線の景観の混乱については解消が難しいですが、ホテルやオオムラサキを和泉市の自然シンボルとして外環状線に看板設置をすることによって和らげることが出来るのではないのでしょうか。「ふさわしい沿道景観づくりとPR活動」として外環状線を通過する車へのPRから始めてはいかがでしょうか。	ご意見にある外環状線沿道の景観については、大阪府景観計画や他法令に基づき取り組んでまいります。 なお、市が看板を設置する計画はございません。
15	61	北部地域 ⑥まちづくりの方針 ア	北信太駅周辺については駅前広場や駅へのアクセス道路の整備を進めると記載されていますが、現況を見る限りかなり難しい事業になるのではと懸念します。今駅前には空き地が出ていますが、計画があるなら早く手当てをと思いますが、計画そのものが出来ていないので、その土地を購入することも難しいのでしょうか。早く駅前整備の基	北信太駅前線整備計画については、事業手法等の検討を進めていく予定でございます。

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
			本計画や実施計画を策定することを希望します。	
16	63	北部地域 ⑥まちづくりの方針	上から4行目「市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場などとして積極的に活用していきましょう。」は、大いに賛成です。H36年度の部分開園予定を少しでも多く出来るように協力を惜しみません。頑張ってください。	
17	77	中部地域 ②地域の特徴・資源 地域の主な資源の表内	中部地域でホタル(ゲンジボタル)が生息する町とはっきり言えるのは久井町しかなく、現在準絶滅危惧種のヒメボタルが見つかり、今年度調査中であります。前述のように「ホタルが生息するまち」は「ホタルやオオムラサキが生息するまち」とした方がPR効果が大きく良いと思いますが、いかがでしょうか。	この項目についてのご意見及び No.8 でのご意見をふまえ、「ホタルなど多様な生物が生息するまち」に修正いたします。
18	77	中部地域 ②地域の特徴・資源 地域の主な資源の表内	地域の主な資源として「歴史的なまちなみや新しいまちなみ、建物」が列挙されていますが、この中に桃山学院大学が掲載されていないのは何か理由があるのですか。掲載されていない理由をお教えてください。	地域の主な資源については、市民意向調査(アンケート)や和泉市観光ガイド、まちづくりワークショップにおける住民意見等を基に記載しております。 ご意見をふまえ、地域の主な資源の表に「桃山学院大学」を追加いたします。
19	79	中部地域 ④地域の課題 4)土地利用の課題	松尾山農道沿道は残土の積み上げで折角の景観を害しています。今後はこれ以上景観を壊す事がないような制約をかけないと、見るも無残な道になってしまいます。早急な対応をお願いいたします。	51ページの「(7)都市景観の方針」に沿って景観施策に取り組んでまいります。
20	79 下部 ～ 80	中部地域 ④地域の課題 4)土地利用の課題	「市街地に近い田園環境として良好な環境と景観の形成が必要」、「国道170号沿道の土地利用及び景観の混乱」、「地域活性化のあり方を検討」などの部分について、久井町と国道170号線、若樫町を結ぶ自然資源の活用(具体的には「ホタルとオオムラサキの里」)を明確に入れることが出来ないでしょうか。ご検討ください。	自然資源の活用については、79ページの「(3)地域の資源を活かしたまちづくりの課題」内に記載しております。(No.17参照)

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
21	84	中部地域 ⑥まちづくりの方針 キ、ケ	<p>キ 「市民が身近に触れられる自然環境」、「親水空間としての整備」、「河川空間やため池周辺における美化活動や環境学習」</p> <p>ケ 「周辺の自然環境を楽しむレクリエーション」について</p> <p>とても良いことです。環境保全課や道路河川課、公園緑地課に任せるだけでなく、公民協働の立場から、「・・・していきましょう。」の部分を「NPOなどの地域活動団体と共に・・・行います。」と明示した方が良いと思うのですが、よろしくご検討ください。</p>	<p>地域別構想のまちづくりの方針で、「・・・しましょう」という表現を用いているものは、地域が主体となって取り組むことや、地域と行政が連携しながら協働で取り組むこととなっております。</p> <p>ここでいう「地域」とは、地域住民をはじめ、町会・自治会やNPOなどの市民活動団体（No. 11参照）も含まれます。</p>
22	86	中部地域 ⑦土地利用の方針 ○都市・自然交流地区	<p>都市・自然交流地区という素晴らしい名称を付けて頂いていることに感激しております。「レクリエーションの場、自然観察・体験の場、生物生息空間など多面的な活用」は真に必要なことであり、現状を考えますと、「を図ります。」という段階はもうすでに十分と考えます。「を行います。」として良いと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>「レクリエーションの場、自然観察・体験の場、生物生息空間など多面的な活用」については、行政だけで行うものではなく、地域住民や市民活動団体などと調整・連携を図りながら取り組むことが必要であると考えていることから、「図ります。」という表現を使用しております。</p>
23	89	南部地域 ②地域の特徴・資源 地域の主な資源の表内	<p>白川は父鬼川の一支流だけを意味します。またオオムラサキの自然発生している地域でもありますので、「ホタルが生息するまち、白川」を「ホタルやオオムラサキが生息するまち、父鬼川」とした方が良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>「白川」については、まちづくりワークショップにおいて地域住民から出たご意見ですので、記載はこのままとさせていただきます。</p> <p>なお、南部地域にはオオムラサキを含め多様な生物が生息していることから、「ホタルなど多様な生物が生息するまち」に修正いたします。</p>
24	91	南部地域 ④地域の課題 1)生活基盤・住環境の課題	<p>生活道路や通学路における安全性の確保や生活排水への対策など、快適な生活環境づくりが必要です。特に国道170号から堺方面に通過する車が多い地区では安心・安全で快適に住まう生活環境が著しく損なわれている現状から、上川バイパスの早期実現が必要となっています。以下略</p> <p>※太字部分を追加記述。</p>	<p>○ご意見をふまえ、「1)生活基盤・住環境の課題」を下記のとおり修正いたします。</p> <p>(修正後)</p> <p>交通量の増加などが生活環境に影響を及ぼしていることから、生活道路や通学路における安全性の確保が求められています。また、生活排水への</p>

No.	ページ	項目	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
			<p>(追加記述の理由)</p> <p>国道170号(外環状線)の建設時点からの地元要望であり、関西国際空港開港(平成6年9月)に併せ国道170号の開通が第一優先であった。開通後(平成6年8月末)大阪府は旧国道170号の交通量調査(平成9年)を行い、上川バイパスの事業化を決定し、道路設計の上、用地買収を行った。(H11~13年頃、8割買収済)その後、先行事業として、上川橋架け替え(平成16~17年)、河川拡幅工事(平成23年度まで)を行った。この間、地元では高齢化がドンドン進む中、まもなくバイパス工事が着工されるものと期待していたが中々事業化が見えてこない。大阪府、和泉市とも計画道路になっているにも拘わらず失念していた。よって、町民総会で大阪府、和泉市に早期建設の要請を行うとともに、和泉市の上位計画に明確に位置付けるよう要請していくことが確認された。なお、和泉市の計画に位置付けることは大阪府の意向でもある。</p>	<p>対策など、安全・安心で快適な生活環境づくりが必要です。</p> <p>地域内は概して・・・(以下、略)</p> <p>○地域の課題を受けて94ページの「⑥まちづくりの方針」を位置づけております。なお、大阪府の事業である上川バイパス整備の必要性については、「まちづくりの方針 ア」で位置づけされているものと認識しております。</p> <p>○この位置づけをふまえて、上川バイパス整備の事業主体は大阪府であることから、国道170号(大阪外環状線)の4車線化と併せて、大阪府へ要望してまいります。</p>
25	100	1. 住みたい・住み続けたい良好な住環境づくり	<p>(1)の3番目の項目に「都市と自然の心地良さに人が集い、躍進し続けるまち・和泉」という観点から</p> <p>・和泉市特有の北部、中部、南部の豊かな自然を活かした安らぎのあるまちなみ形成を是非追加していただきたいと考えます。よろしくご検討ください。</p>	<p>都市計画の目標を受けて、取組みテーマ別構想においては、本市の恵まれた自然環境を活かしたまちの魅力の創出という観点として、103ページの「(2)自然環境や歴史文化遺産などの地域資源の保全・活用」を位置づけております。</p>
26	104	4. 都市の活力を生み出す環境づくり	<p>(4)の「・地域住民や企業、大学」を「・地域活動団体や企業、大学」とした方が良いと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>ご意見をふまえ、「地域住民や企業、大学、NPO、ボランティアなど多様な主体との連携」に修正いたします。(95ページの「まちづくりの方針オ」を参照)</p>